

令和6年第3回（6月）筑紫野市議会定例会

【予算審査常任委員会 委員長報告】

議案第42号 令和6年度筑紫野市一般会計補正予算（第1号）

の件について、その審査の経過と結果をご報告いたします。

本件の主な内容は、定額減税しきれないと見込まれる納税義務者に対し不足分を支給するとともに、令和6年度に新たに住民税非課税世帯または住民税均等割のみ課税世帯となった世帯に対し給付金を支給するため、「定額減税調整給付金支給事業」及び「新たな住民税非課税世帯等への物価高騰支援給付金支給事業」に係る予算を増額するものであり、歳入歳出それぞれ13億4,063万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を388億1,163万1千円とするものです。

なお、市長の提案理由説明にもあったとおり、本件については、迅速な支援を目的とした議案であることから、議案第43号 筑紫野市一般会計補正予算（第2号）に先立ち提案されたものです。

委員会では、「定額減税調整給付金支給事業」に関し、令和5年の所得情報を基に給付を行うとなっているが、支給額に差額が生じた場合の精算はどうするのか、との質疑があり、執行部からは、令和6年の所得が確定したのちに、給付金が不足していることが判明した場合には、不足分を追加給付するための事業が来年度行われる予定となっており、また、給付金が過大となっていた場合には、差額の返還を求める必要はないとの見解が国から示されている、との答

弁がありました。

また、一委員から、「新たな住民税非課税世帯等への物価高騰支援給付金支給事業」に関し、基準日時点で妊娠していた場合は給付の対象となるのか、との質疑があり、執行部からは、前回同様に基準日以降に出生した子についても給付の対象となる、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和6年第3回（6月）筑紫野市議会定例会

【予算審査常任委員会 委員長報告】

議案第43号 令和6年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）の件について、その審査の経過と結果をご報告いたします。

本常任委員会は、去る6月13日に委員会を開催し、審査を行いました。

本件の主な内容は、歳出予算として、防災事務事業 190万円、予防接種事業 2億1,459万3千円の増額、歳入予算としてデジタル田園都市国家構想交付金 9,728万3千円の減額、財政調整基金繰入金 1億7,077万6千円、新型コロナワクチン接種事業費補助金 1億4,110万円の増額などをするものであり、歳入歳出それぞれ 2億1,649万3千円を増額し、歳入歳出予算の総額を 390億2,812万4千円とするものです。

委員会では、「防災事務事業」に関して、地域からはどのような申請があったのか、との質疑があり、執行部からは、避難所等に整備するための発電機やリヤカー等の防災に関わる資機材を購入するための申請があり採択された、との答弁がありました。

また、一委員から、「集団健診業務委託」に関して、若年層の健診受診率の低さが課題となっていたがインターネットでの予約受付を開始することで受診率向上につながるのか、との質疑があり、執行部からは、予約方法が便利になり、受診率向上にもつながると期待している、との答弁がありました。

また、執行部から、デジタル田園都市国家構想交付金の減額については、「校務支援システム導入事業」の財源としていたもので、先進地の優良モデルを横展開するという補助メニューに筑紫地区5市で共同申請したものの、校務支援システムの共同導入に関する部分のみ採択され、システム接続に必要なネットワークの整備及び教員用端末の入替については不採択となったためであり、減額相当額については財政調整基金を繰り入れるものであると説明がありました。

この交付金の減額による歳入減について、3月議会中に予想されたなか、議会への報告が今定例会と遅くなり、議員各位に不信を招く事態となった、今後同様のことが繰り返されることがないよう努めてまいる、との報告がありました。

その上で、「校務支援システム導入事業」は、教職員の働き方改革や児童生徒へのICT教育に有効であり、今後の学校教育の推進に必要不可欠な事業であるため運用開始に向けご理解をいただきたい、との説明を受けました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、本日、本委員会を開催し、市長よりデジタル田園都市国家構想交付金の減額に関して、3月議会中に予想されたものの、予期せぬ大幅な減額の動きに詳細な情報把握ができておらず、筑紫地区5市共同で行う重要な事業であるため補助金の復活に向けた対策を検討するなど業務を最優先したことにより、議会への報告が遅れ、議会運営に混乱を招いたこと。今後このようなことがないよう再発

防止に努めていく、との説明がありました。

以上、報告を終わります。